



野草で焼き芋！循環型社会を学習



11月20日、YMCA赤水保育園で草原の野草を使った焼き芋づくりや草灰を使った畑づくり体験が行われました。これは、NPO法人九州バイオマスフォーラムが熊本県の委託を受けて実施している「エコジュニア事業」の一環で行われたもので、バイオマスの利活用を通じた環境学習を親子で受講しました。

子どもたちは、市の担当者から野草を原料とした発電施設から出る草灰が肥料として役立つという説明を受けた後、野菜の生育を願い、灰を手際よく畑に撒きました。

その後、野草を使って焼き芋づくりに挑戦し、親子でアツアツの焼き芋をほおばっていました。

坂梨と縁のある  
歴史上人物の顕彰碑を建立



地域づくりに取り組む坂梨宿場會（赤星永幸会長）の皆さんが、「高山彦九郎宿泊の地」、「伊能忠敬宿泊の地」、「勝海舟と坂本龍馬が行く」と刻んだ3本の顕彰碑を建立し、その除幕式が11月20日行われました。

この顕彰碑は坂梨宿場會が、郷土の歴史を知ることと“地域の人たちに地域に対する誇りや愛着を育んでもらいたい。来訪者に坂梨への興味や良さを感じてもらいたい。會の発足から12年、会員の汗と努力の記念として”などの願いを込めて建設されたもので、建設費は「くまもと県民文化賞」の賞金と会員の会費が使用されました。

建設にあたり、市原秀彦さんが敷地使用に協力されたほか、坂梨の歴史調査に尽力された嘉悦渉さんが碑文の文字を書かれ、建設工事は会員が集まり汗を流されました。

「地道に草の根活動を続けてきたプロセスが大事であった」と、顕彰碑建立に至るまでを振り返る事務局の志賀聡雄さん。心のこもった「坂梨の新たなスポット」をぜひご鑑賞ください。設置場所は市道（坂梨本通線）突き当たりカーブの所です。

**第5回熊本県選抜ちびっこ相撲大会で上位入賞!!**

熊本県内の幼児が参加するちびっこ相撲大会が11月3日、熊本市立白坪小学校で行われ、阿蘇市から4名のちびっこ力士が参加しました。

約90名が参加し、団体戦では惜しくも2回戦で敗れたものの、個人戦では年長の部で遠藤廉士くん（6歳、小池）が2位、年中の部では高日優汰くん（5歳、桜町）が3位と、優秀な成績を収めました。



みんなの広場